

第 91 回 ここからカフェ九品仏

日時：2026年3月お休み

第 119 回 お隣さまお茶会

蓄音機の音を覚えていますか？

100年前の録音を当時の機械で再現します
シャリアピン、カルーソ、クライスラーの
奏でる名曲をお楽しみください

講師：阿部維夫さん

日時：2026年3月16日(月)
13:30～15:30

会場：スペースえんがわ inn
世田谷区玉川田園調布2-12-6
参加費：500円 ※要予約
申込・問合せ 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス



第 61 回 玉田シニアサロン

『コーヒーと血圧計』

馬場 未織 さん (neighbor 共同代表)

日時：2026年3月8日(日)
15:00～16:00

会場：スペースえんがわ inn
参加費：無料
問合せ：03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

今回は、街角保健室実行委員会との共催で実施します。いつもと場所と時間が違うので間違えないようにしてください。スペースえんがわ inn です。

講師の馬場さんは「みんながカジュアルにケアしあえる社会」と「ケアについて学び合うつながり」を求めて尾山台のホコ天で毎月ケアのプラットフォーム『コーヒーと血圧計』を開催しています。

2

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 1日(日) 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館 1階
- 3日(火) 街角保健室プロジェクト会議 / オンライン
- 4日(水) 楽多の会定例会 / NEXThouse
- 6日(金) プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢(タイヤ)公園
- 9日(月) 住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所
- 12日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 13日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 15日(日) タマデンマルシェ / アビターレ前(玉田1-13-1)
- 16日(月) お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn
- 17日(火) プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 19日(木) せたがや防災 NPO アクション事務局会議 / オンライン
- 20日(金) プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢(タイヤ)公園
- 22日(日) おやまちリビングラポ会議フェス / 東京都市大九品仏アートフェスタギャラリートーク / ギャラリートバリエ
- 26日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 28日(土) ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2階

3

ハウスカレンダー

- 8日(日) 街角保健室 街角カフェ 同時開催 玉田シニアサロン
15:00～20:00 スペースえんがわ inn
- 9日(月) お隣さまお茶会
13:30～15:30 スペースえんがわ inn
住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 世田谷総合支所
- 12日(木) 住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所
- 13日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会
9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 15日(日) タマデンマルシェ
11:00～15:00 アビターレ前(玉田1-13-1)
- 19日(木) せたがや防災 NPO アクション事務局会議
18:00～20:00 オンライン
- 26日(木) 住宅まちづくり総合相談
13:30～15:30 玉川総合支所

ハウスの会員数

- 特別正会員 5名
- 正会員 25名
- ニュース会員 42名

3月号にかかわったひと

- 伊藤雅春 染野和夫
- 高橋阿貴 小西玲子
- 柴田希美絵 池田麻未
- 昆野敬子 有賀由利加

玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ!

3
2026

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085
東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10 Email house@tamamati.com
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>



玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

街角カフェ開催!

- 3月8日(日) スペースえんがわ inn で街角カフェを開催します!
15時～16時 玉田シニアサロンと共催
「コーヒーと血圧計」を主宰なさっている neighbor 共同代表の馬場未織さんのお話を伺う
- 16時～17時 庭でモルック体験
- 17時～ 参加者みなさんでおしゃべりしながら交流しよう!
(17時からの交流会のみ1000円いただきます)

『街角保健室』は誰かと話したい時、一息つきたい時に立ち寄れる近所の心地いい場、空間をイメージしています。様々な活動団体が「街角保健室」という名のもとにつながって、必要としている方へ、地域の居場所への一歩を促すことで、人々の健康や幸福度を向上できたら、と思い2023年から活動を始めています。非医療的な処方、社会的処方を目指します。

玉川まちづくりハウスは、趣旨に賛同してくださる団体を増やし、団体それぞれや、各団体と町会との絆が強くなることを目指して、ネットワークを強くしていきたいと考えています。

が、それぞれ忙しく自分の活動をしている団体にとって、もう一歩時間を取り、手を出して「つながりのイベント」を企画運営していくのはなかなか大変です。そこを頑張りたい!!!

「カジュアルにケアを考えていこう」と、活動していらっしゃる「コーヒーと血圧計」主宰の馬場さん、知らない人とも出会った人を気軽に助けてしまうという感覚を「カジュアルケア」と言っているのかなと想像しています。頑張らずに頑張りたいハウスにとって興味深い話が聞けるのではと思っています。

一息ついたら(一社)輝水会 手塚由美さんによるモルック体験。フィンランド発祥の障がい者、高齢者、お子さん問わず誰でも楽しめるスポーツ、モルックは昨年10月の街角祭りでもとても好評でした。3/8街角カフェ是非お出かけください



モルックは、投げ棒(モルック)で木のピン(スキトル)を倒し、先にちょうど50点に到達することを目指すゲームです。倒れたスキトルの本数または数字が得点となり、50点を超えると25点に減点されます。



<https://neighbors-neighbor.com/>

2/22 おやまちリビングラボ会議フェスに行ってきました！

＠東京都市大世田谷キャンパス 1号館

「おやまちリビングラボ」は、東京都市大学都市生活学部都市生活学科コミュニティマネジメント研究室の坂倉杏介先生、ゼミの学生を中心に、学生や住民、様々の立場の方が関わり、誰もが「ウェルビーイング」な状態であることを目指し、活動を展開しています。

拠点はハッピーロード尾山台商店街に面する「タタタハウス」の2階。ここを、「おやまちリビングラボ」と名づけ商店街とも関わりあいながら、まちの暮らしの中で様々な可能性を探り、本当に実現したい暮らしや社会をデザインしていく「まちの研究拠点」としてさまざまな実証や研究活動を行っています。

今回、1面でも紹介した「街角カフェ+玉田シニアサロン」の企画でお話くださる「コーヒーと血圧計」の馬場さんが、特別バージョンで、このフェスでの開催と聞き、ハウスのメンバー3人で行ってきました。

会議をメインとした企画がこれだけ多様で多世代の人が集まる『場』（地域の方も含め200名ほど）となっていることに驚きました。大学の研究室が全面的にバックアップしているとはいえ、これだけの地域の人達が自分たちの暮らしの未来のことを話し合う『場』に集うパワーはどこから生まれるのでしょうか。尾山台のまちに今起きている奇跡を見る想いがしました。玉川まちづくりハウスに、欠けているものが見えてくる機会でした。

活動の渦、活動の積み重ね

リビングラボでの2025年度の活動を中心に4年間の活動を振り返る企画でした。東京都市大の学生さんによる活気ある楽しい企画で、老若男女問わず多くの方が参加されていて、たくさんのお出会いと学びがありました。

オープニングセッションにて、坂倉先生は、今年で4年目となるリビングラボでの活動を振り返り、活動の「渦」を感じた1年だったとお話されていたことが印象的でした。様々な活動が生まれる中でも、活動同士がつながり、それぞれの活動を通じ「自分の暮らしを自分でつくっていく力」が大切だという共通項のようなものが見え始めた一年だったそうです。

今既にある仕組みやサービス、コミュニティを大切に、どうより良く暮らすのか。地域での暮らしを良くしよう、というリビングラボに関わる方々の一人一人の努力を、感じることができました。「ウェルビーイング」を目指すという壮大なプロジェクトも、ひとつひとつの丁寧な活動の積み重ねが大切なのだ、改めて実感しました。

有賀由利加



会場風景

コーヒーと血圧計

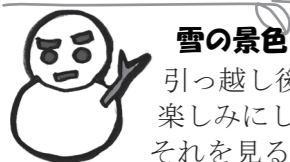
活動をつなぐ市民とコミュニティの進化

尾山台とハウスが拠点としているまちは隣り合わせといってもいい関係ですが、興味深かったのはどちらの活動にも顔を出している何人か人に出会ったことでした。

どちらのフィールドにも顔を出し、それぞれで異なる顔を見せている参加者、コミュニティをつなぐ市民はそれぞれの「コミュニティの生態系」をつなぐ遺伝子？接触の中から独自のコミュニティの進化が生まれてくるのかもしれない。

伊藤雅春

暮らしのつばやき 2026年3月



雪の景色

引っ越し後、雪の日の窓からの景色を楽しみにしていたのですが、先日ついにそれを見ることができました。河原を雪の中散歩する犬たち、河原の斜面でそり遊びする子どもたち、雪を背景に素敵な写真を撮っているカップル… 様々な人たちが雪を楽しんでいて、空だけでなくその様子を見ているのもとても楽しかったです。

玉川まちづくりハウスニュース



金継ぎ体験

家で使っていた茶碗が欠けてしまい、買いかえようか迷っていた時に、金継ぎの体験を紹介してもらいました。

時間のかかる本当の漆ではなく、新うるしを使用した現代金継ぎということで、2時間くらいで、欠けた部分をサッと自分で修復することができました。まだ今乾かしている最中なのですが、自分で直したことでやはり、愛着が湧いて、大切に使おうと思える良い時間でした。

2

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいで紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る

その38

第38回 「東急電鉄の歴史」その②

奥沢地誌保存会・染野和夫

田園都市(株)は、社内に設けた鉄道事業部門で鉄道路線建設を進めますが、当初の計画通りに事業を進めることが出来ず、関西の阪神急行電鉄(現・阪急電鉄)社長の小林一三氏に経営を依頼します。小林氏は阪神急行電鉄の前身の箕面有馬電気軌道時代に、梅田～宝塚間と石橋～箕面間の2路線を開業、箕面に動物園、宝塚に温泉や少女歌劇を始めるなど、沿線住宅地の開発や旅客需要の開拓などで私鉄経営のビジネスモデルを先行的に示してきた実業家であり、田園都市会社の事業とも重なる領域で事業を発展させていましたので、経営参画を依頼するには適切な人物と考えられました。



小林一三氏氏

だが、矢野恒太氏から社長就任の要請を受けた小林一三氏は、大坂在住であり多忙でもあったことから、田園都市会社の役員会には月一回だけ参加する事になりました。しかし、小林氏は役員会で決議された事項がなかなか実行されていない状況を見るにあたり、鉄道事業を推進させるには自分の代わりに実行力のある人を役員に入れる必要性を強く感じ、元鉄道院の官僚で武蔵電気鉄道(株)の常務取締役であった五島慶太氏に着目し、同氏を田園都市会社に入るよう口説くことになりました。

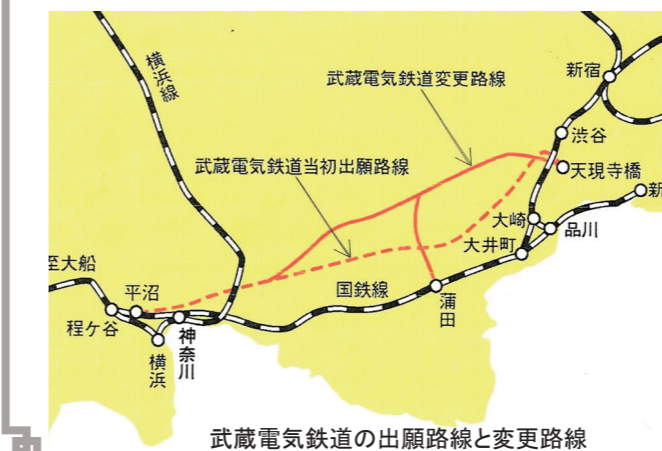


五島慶太氏

ここで、五島慶太氏と武蔵電気鉄道(株)について解説いたします。

五島慶太氏は明治44年(1911年)東京帝国大学を卒業し、農商務省を経て大正2年(1913年)から鉄道院に勤務しています。この鉄道院ではほぼ一貫して私鉄の監督をする監督局に勤めていて、地方鉄道法の制定に従事するなど、私鉄の経営監督を専門としたキャリアでした。そして大正9年(1920年)に鉄道院監督局総務課長を退官し、武蔵電気鉄道(株)の常務取締役として迎え入れられています。

この武蔵電気鉄道(株)とはどういう会社だったのでしょうか。会社の歴史は古く、明治43年(1910年)に資本金350万円で設立しています。同社は、渋谷(広尾町天現寺橋)～平沼(横浜市平沼)間を本線、調布(調布村下沼部)～蒲田間を支線とする鉄道敷設の出願をして免許を下付されています。この本線は後の東横線



武蔵電気鉄道の出願路線と変更路線

であり、支線は後の目蒲線の一部となる路線です(左図)。

武蔵電気鉄道の本線計画は、東京～横浜間では、既に国鉄と京浜電気鉄道(現・京浜急行電鉄)が両都市間を結んでいましたが、共に海岸寄りのルートであり、東京市の西側の山の手地域の住民にとっては、品川まで迂回しなければならず不便でした。また、府下豊多摩郡や荏原郡、神奈川県橋本郡では公共交通に恵まれおらず、そこで渋谷を起点に横浜を結ぶことによって、これらの地域の交通難を解消し、発展に寄与しようというものでした。(以降は次月号に続きます。)



梅の季節

このコラムで毎年書いている気がしますが、2月も半ばになるとハッとするような梅の香りがしてきます。

最近料理の調味料として梅干しを使うレシピが気に入っていて、梅って香りも味も華やかなものだなあと思うようになりました。

雨で散ってしまう前に、春のおとずれの香りを沢山楽しんでおこうと思います。



家で飲みたいもの

少しずつ暖かくなってきたので、家にいる時の飲み物の種類が変わってきました。

私の場合、寒い時には熱いミルクティーやコーヒーを飲みたくなるのですが、春には常温のお茶や緑茶が欲しいなと思うようになります。

歯に色がつきやすく、あまり濃い色のものを飲まない方がいいよ、と歯医者さんに言われていて、家で飲む飲み物の最適解を模索中です。(貴)

玉川まちづくりハウスニュース

3